

大会名称： 第54回関東中学校バスケットボール大会

開催場所： 船橋アリーナ

Aコート

試合区分： 準々決勝

期 日： 8月8日

ル-チ-フ

六角 亜沙美

(指名)

開始時間： 16:10

1st 7PM 17

岡崎 武史

(千葉)

終了時間： 18:05

2nd 7PM 17

猪股 祐介

(千葉)

高崎市立榛名中学校								世田谷区立梅丘中学校							
群馬								東京							
● 51								○ 77							
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		根岸 一斗	0					4	*	山田 楓太	8		4		2
5		矢島 愛琉	-					5	*	外山 蒼空	18		9		2
6	*	櫻井 輝大	3	1			4	6		幸田 謙一郎	-				
7	*	小林 蒼大	1			1	2	7		マクレー 琉来	2		1		
8		民本 凌唯斗	-					8		福島 琉輝	-				
9		中曾根 楓真	-					10		小林 祐大	-				
10	*	田子 青樹	9	1	3		1	11		岩佐 琥太郎	-				
11	*	富澤 龍一郎	33	7	5	2		13		鈴木 常玄	-				
12	*	富澤 悠誠	5	1	1		3	16	*	小山 マテオ	13		6	1	2
13		大川原 陽翔	-					17		長谷川 光	0				
14		堀口 晴輝	-					18		藤沢 宏太郎	-				
15		唐澤 陸叶	-					20	*	勇崎 陽太	15	3	3		
16		新井 蔵之助	-					23	*	野呂田 桜輔	19	1	7	2	
17		荻原 慶与	-					24		副島 成央	2		1		2
18		小澤 逞太	-					35		野村 勇人	0				1
コーチ 後藤 紘則								コーチ 染谷 久							
A・コーチ 浅井 素子								A・コーチ 北村 隆一							
合計			51	10	9	3	10	合計			77	4	31	3	9

S:スターター PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファール

準々決勝戦、両チームハーフコートマンツーマンでスタート。開始早々梅丘#20 勇崎の3P、#23野呂田のミドル・ゴール下のシュートで先制し、勢いに乗る。前線から鋭いプレスをかけて榛名をフロントに運ばせない。対する榛名はタイムアウトを機に#11 富澤がミドルシュート・3Pを決めて応戦。一方で、梅丘は#16 小山の積極的なリバウンドやバスケットカウントから着実に得点を重ね、11-21で第1Qを終える。

第2Q、榛名は献身的なディフェンスから相手のパスミスを誘い、#12 富澤がレイアップシュートを確実に決めて7点差に縮める。梅丘は#5 外山がドライブインによる連続得点を奪い得点差を引き離す。対する榛名も#11 富澤が連続で3Pを決めて反撃し、前半を29-41で終える。

第3Q、榛名の#11 富澤が1対1を積極的に仕掛け、相手チームを翻弄する。梅丘も#20 勇崎、#23 野呂田が積極的にオフェンスを仕掛け、乱打戦となる。榛名は素早いドリブルからのキックアウトで外角からゴールを狙うが、リズムをつくれず43-61の梅丘18点リードで第3Qを終える。

第4Q、このクォーターも両チーム積極的に3Pを狙う。そして決め手となったのは梅丘#5 外山によるポストアップからのシュート。さらに#5からキックアウトパスを受けた#4 山田がミドルレンジのシュートを放ち、これを決める。得点差は25点となり、開始2分半で榛名がタイムアウトをとる。#7 小林、#6 櫻井が3Pを放ち流れに乗りたいた榛名であったが、決めきれず終始リバウンドに粘り強く関わりゴール下を狙った梅丘が26点差で勝利し、全国大会の切符を手にした。

大会名称： 第54回関東中学校バスケットボール大会

開催場所： 船橋アリーナ

Bコート

試合区分： 準々決勝

期 日： 8月8日 対戦相手： 丸-チ-フ 対戦相手： 平原 勇次 (本部)

開始時間： 16:10 対戦相手： 1st 7th 17 対戦相手： 安藤 俊明 (千葉)

終了時間： 18:05 対戦相手： 2nd 7th 17 対戦相手： 堀口 拳 (埼玉)

北杜市立高根中学校								横浜市立豊田中学校							
山梨								神奈川							
● 48								○ 69							
12 -1st- 20															
10 -2nd- 19															
13 -3rd- 20															
13 -4th- 10															
-0T1-															
-0T2-															
-0T3-															
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	清水 滋瑛	18		7	4	3	3	*	松本 蒼汰	12	2	3		4
5	*	山寺 諒也	15	2	4	1	1	7		齋藤 吏言	-				
6	*	古屋 啓人	2		1		4	8		本村 拓士	-				
7	*	畑山 朝日	8	2	1		2	12	*	イヘツ グットラック チネドウ	30		14	2	3
8		横山 太陽	-					13		稲木 僚	-				
9		國分 汰翔	0					15	*	高橋 勇陸	14		7		2
10	*	島 蒼晟	2		1			16		遠藤 惟人	0				
11		羽田 毅竜	3	1			2	17	*	畠山 琉成	10		5		
12		進藤 柊	-					18		滝吉 航	-				
13		興梠 快	-					19		松本 悠平	-				
14		小林 倖誠	-					20		須藤 蓮	-				
15		白倉 聖七	-					21		宮崎 光佑	-				
16		一木 琉唯	-					22		秋谷 逞斗	-				
17		井出 結志	-					23		猪 怜音	-				
18		小林 琉偉	-					24	*	金城 輝来	3		1	1	4
コーチ 荻野 健								コーチ 岸 澄佳							
A・コーチ 水川 葉月								A・コーチ 黒田 みさき							
合計			48	5	14	5	12	合計			69	2	30	3	13

S:スターター PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファール

準々決勝、全国大会への切符を賭けた戦い。両チームともハーフコートのマンツーマンでスタート。1Q、豊田中は#12 イヘツ、#15 高橋の高さを生かしたオフェンスでゴール下から得点を重ねる。一方、高根中は#7 畑山、#5 山寺の3Pが決まり主導権を渡さない。しかし豊田中は#12のオフェンスリバウンドで着実に得点し、1Qは12-20と豊田中リードで終了。2Q、高根中はディフェンスリバウンドから速い展開で攻撃を仕掛けるが、シュートブロックに捕まり得点を伸ばせない。点差が17点に広がり、豊田中リードで前半終了。3Q、高根中は#4 清水が1対1を仕掛け連続で得点するが、豊田中のオフェンスリバウンド、ゴール下のシュートを防ぐことに苦戦を強いられる。高根中は積極的にトラップを仕掛けるが、確実にボールをつないでいく豊田中のリズムを崩すことができない。4Q、高根中は#4、#5、#7の1対1で攻撃を組み立てるが、高さのある攻撃で攻め切った豊田中が勝利を手にした。最後まで粘り強く果敢に戦った高根中も称えたい。

大会名称： 第54回関東中学校バスケットボール大会

開催場所： 船橋アリーナ

Cコート

試合区分： 準々決勝

期 日： 8月8日

ル-チ-フ

一色 渉

(本部)

開始時間： 16:51

1st 7th 17

佐田 幸一

(山梨)

終了時間： 18:12

2nd 7th 17

原 弘高

(東京)

実践学園中学校								春日部市立豊野中学校							
東京								埼玉							
○ 62								● 45							
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	山本 権真	4		2		4	51		小野 湊	-				
5	*	古田 陵介	9		4	1	2	52		加藤 遼真	-				
6	*	守谷 真	16	1	6	1	1	53	*	衣川 矜偉	2		1		2
7		須貝 頼勇	13	1	5		2	54	*	笹山 凜太郎	6		2	2	3
8		荒良木 開登	-					55		竹内 鷲	-				
9	*	堀毛 鼓太郎	2		1		3	56	*	竹内 琉空	19		9	1	4
10		細田 琉仁	-					58		水口 大梧	-				
11	*	黒田 健斗	12	1	3	3	2	59		水口 凜太郎	-				
12		荒木 基晴	-					62	*	飯島 橙生	4	1		1	0
13		高野 創也	-					70		アイクソイ マーカス	2		1		0
14		田中 泰誠	6		3		2	72		加藤 埜蒼	3	1			0
15		鹿野 舜晴	-					75		栗原稜生	-				
16		江良 保翔	-					76		高橋 拓人	0				1
17		芹田 陽生	-					77	*	武田 直	9		3	3	5
18		日浦 陽斗	-					78		永瀬 璃空斗	-				
コーチ 森 圭司								コーチ 田中 英夫							
A・コーチ 坂田 玲磨								A・コーチ 吉村 充							
合計			62	3	24	5	16	合計			45	2	16	7	15

S:スターター PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファール

関東大会準々決勝。実践学園中と豊野中の対戦はお互いにハーフコートのディフェンスからスタート。目まぐるしく攻防が変わる激しい展開のなか、先に抜け出したのは実践学園中。#5 古田のバスケットカウントや#11 黒田の3Pシュートでリードを奪う。対する、豊野中は#54 笹山や#56 竹内(琉)のスピードを生かしたプレーで巻き返し、9-12で1Qを終える。
第2Q、実践学園中は高さを生かした固いディフェンスで、豊野中を5分間ノーゴールに抑える。しかし、豊野中は#56のフローターシュートを皮切りに得意の走る展開に持ち込み、点差を1点縮めて、前半を終える。
第3Q、お互いに攻撃がペースアップし、再び激しい攻防となる。豊野中の巧みなパスワークで#62 飯島が3Pシュートを決めたと思えば、実践学園中は出場したメンバーがバランスよく得点し、リードを16点に広げる。
第4Q、追いつきたい豊野中は果敢なドライブでゴールを狙うも、実践学園中の高さを生かしたブロックショットに阻まれ思うように得点ができない。#4 山本を中心に落ち着いたボールコントロールからチャンスで確実に得点を伸ばした、実践学園中が62-45で勝利し、全国大会への切符を手にした。最後まで走り切った豊野中の粘りも称えたい試合であった。

大会名称：第54回関東中学校バスケットボール大会

開催場所：船橋アリーナ

Dコート

試合区分：準々決勝

期 日： 8月8日 クルチーフ 加藤 暁生 (東京)

開始時間： 16:10 1st 7分 17 村上 翔 (埼玉)

終了時間： 18:30 2nd 7分 17 倉持 雄一 (栃木)

新島学園中学校							市原市立ちはら台南中学校								
群馬							千葉								
● 55							○ 64								
13 -1st- 16															
18 -2nd- 11															
15 -3rd- 15															
9 -4th- 22															
-0T1-															
-0T2-															
-0T3-															
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	植原 煌明	13	1	4	2	2	4	*	永尾 咲翔	19		8	3	4
5	*	竹之内 隼	16		7	2	3	5		山下 逞翔	-				
6	*	川瀬 京也	8	2	1		5	6		森 大成	-				
7		大井 悠輝	10	1	3	1	2	7	*	平野 佑輔	35		14	7	3
8	*	安藤 慶人	2		1		1	8		河野 和葉	0				1
9	*	井田 蓮	6		1	4	2	9	*	烏潟 大夢	3		1	1	1
10		中島 雄吏	0					10		内田 光葉	-				
11		中島 悠人	-					11		小川 蓮介	-				
12		新井 颯真	-					12	*	高橋 斗音威	3	1			1
13		臼井 琉晟	-					13		米田 悠真	2		1		3
14		鈴木 綾太	-					14	*	宮田 恒希	2		1		3
15		塚田 武尊	-					15		崎浜 秀斗	-				
16		小林 康平	-					16		長田 結人	-				
17		関根 聖成	-					17		江連 和紗	-				
18		春原 竜真	-					18		川上 虎之介	-				
コーチ 水井 雄太郎								コーチ 庄村 裕介							
A・コーチ 青柳 保志								A・コーチ 越後谷 幸太郎							
合計			55	4	17	9	15	合計			64	1	25	11	16

S:スターター PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファール

準々決勝、全国大会出場をかけた戦い。新島学園中学校（群馬県）対市原市立ちはら台南中学校（千葉県）。両チームともボール運びに対してオールコートマンツーマンでスタート。新島学園は#4植原、#5竹之内のドリブルドライブを中心に攻撃。これに対してちはら台南のファウルが重なり、フリースローで得点を重ねる。ちはら台南は、#7平野のドリブルドライブ、インサイドを中心としたオフェンスで13-16、ちはら台南のリードで1Qを終える。

2Q、新島学園の#4植原、#7大井の3P、ドリブルドライブで逆転する。ここから互いに流れをつかもうとするが、決定的なチャンスが訪れず、31-27で新島学園のリードで2Qを終える。

3Q、両チームとも相手ディフェンスが崩せず、一進一退の攻防が続く。新島学園#8安藤のリバウンド、ちはら台南#12高橋、#13米田のディフェンス、ルーズボールなど献身的なプレーが両チームで目立った。

4Q、残り4分で試合が大きく動く。新島学園の隙について、ちはら台南#7平野が得点を重ね、#13米田の速攻で同点にすると、その後も攻撃の手を緩めず、#4永尾を中心にリードを広げる。新島学園も#5竹之内、#9井田が粘りを見せるも、ちはら台南が逃げ切り、55-64で勝利。準決勝に駒を進めた。